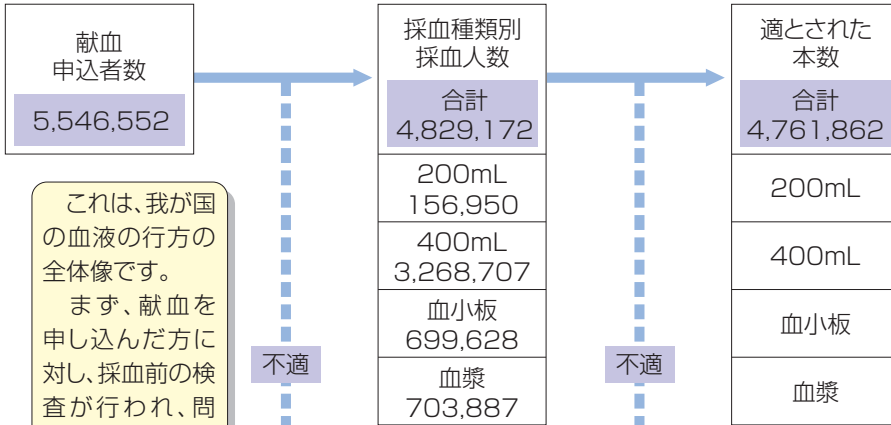


我が国における血液



これは、我が国の血液の行方の全体像です。
まず、献血を申し込んだ方に対し、採血前の検査が行われ、問診により健康状態が確認されます。

不適

不適

	不適人数
採血基準	405,325
問診①	20,176
問診②	85,711
その他	206,168
合計	717,380

※問診①②については
23ページ参照

不適人数	内 訳	
67,310	一次検査	核酸増幅検査(NAT)
梅毒	4,597	
HBV	15,768	739
HCV	1,047	272
HIV	2,292	50
HTLV-1	3,016	
B19	2,507	
不規則	3,430	
肝機能	30,771	
その他	6,433	
延人数	69,861	1,061

採血前検査を通った方から採血された血液は、感染症や抗体について検査されます。
ここで不適とされたものは、以後の製造には用いられません。

検査で適とされた血液は、輸血用血液製剤や原料血漿に調製されます。
輸血用血液製剤は、日本赤十字社から医療機関に供給されます。

- 輸入製剤・血漿
 - ・アルブミン製剤
 - ・組織接着剤
 - ・インヒビター製剤
 - ・第Ⅷ因子製剤
 - ・免疫グロブリン製剤
 - ・抗破傷風IG製剤
 - ・C1-インアクチベータ
 - ・血漿
- 遺伝子組換え
 - ・アルブミン製剤
 - ・インヒビター製剤
 - ・第Ⅷ因子製剤
 - ・第Ⅸ因子製剤
 - ・第Ⅻ因子製剤
 - ・ATⅢ製剤

血漿分画製剤自給率(28年度)

○アルブミン	58.4%
○第Ⅷ因子製剤	100.0%
○免疫グロブリン製剤	94.9%
○フィブリノゲン製剤	} 100.0%
トロンビン製剤	
活性化プロテインC	
人ハプトグロビン	
ATⅢ製剤	
○組織接着剤	0.0
○第Ⅸ因子製剤	100.0%
○インヒビター製剤	8.8%
○抗HBs製剤	3.0%
○第ⅩⅢ因子製剤	} 0.0
抗D(Rho)IG製剤	
抗破傷風IG製剤	
C1-インアクチベータ	

※自給率は、国内で使用される血液製剤のうち、国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造された血液製剤の割合をいう。

(一財)化血研	17.0万L
	0万L
(株)日本製薬	32.0万L
(一社)日本血液製剤機構	36.0万L
	12.0万L

の行方（平成28年度版）

